

★講座レポート★

講座名：平成 30 年度家庭教育セミナー①  
テーマ：「楽しいコミュニケーション」を考えよう！  
子どものネットトラブルを防ぐための3つの対策  
講師：LINE オフィシャルインストラクター 袴田由香さん  
日時：平成 30 年 9 月 21 日（金）午前 10 時から正午  
場所：上中条青少年センター会議室  
参加者：22 人  
講義概要：以下のとおり

今回の家庭教育セミナーは、LINE アプリ開発元である LINE(株)様より講師を派遣いただき、子どものネットコミュニケーションリテラシーを育てるために家庭でできることは何かを考えました。

おなじみのキャラクターが登場するテキスト、豊富な資料とわかりやすい解説により、ネット上のトラブルの特性や対策法、コミュニケーションの大切さを学ぶことができ、ワークショップにより参加者相互の意見交流も図られ、有意義な講座となりました。以下、講座のまとめと参加者の感想をご紹介します。

(報告者：茨木市教育委員会社会教育振興課講座担当者)



子どもがスマホ、ネットを使ったときに不安なことは？

トラブルの例

- ①悪口、いじり ②不適切情報の発信 ③不適切サイトの閲覧
- ④著作権の侵害 ⑤知らない人との出会い ⑥高額課金 ⑦長時間利用
- ⑧不正なアプリのインストール

ネットで実際に体験したいやなこと、実際されたらいやだと感じること

【実際に体験していやだったこと】

- ①知らない人から「友達追加」②既読無視③話の最中にスマホや携帯を触る
- ④スタンプ連打(→「かまってほしい」気持ちの表れ?)

【されたら嫌だと感じること】

- ①嘘を広められた②入ってないグループ内で自分の悪口を言われた
- ③写真を勝手に使われた④LINE 上で自分の知られたくない情報が流された

→大きなギャップがある。

悪気なくしたことも、相手にとってはいやなことである場合がある。

## トラブルの要因となる行動と対策

- 不適切な情報を送る、発信する → コミュニケーションのトレーニング
- 不適切な情報を受け取る・見る → 設定の確認
- 不適切な使い方・管理 → 設定の確認、ルールの工夫

## 3つの対策

### 1 設定の確認

ID検索をOFFにする。

フィルタリングサービスの活用

### 2 ルールの工夫

ルールの有無

ルールを決めていない 64%

ルールの決め方

保護者が決めた 60%、家庭内で話し合っただけ決めた 30%

自分で決めた 11パーセント

## ルールの決め方と遵守の関係

ルールを守っている割合

家庭内で話し合った 53%、自分で決めた 42%

保護者が決めた 34%

→保護者主導よりも、子どもとの関わりがよい影響

ルールの設定と工夫

「夜遅い時間」「長時間」・・・人によって基準が違う。

→保護者と子どもが話し合い、より具体的なルールの設定が必要。

どうしたらルールを守れるかの工夫

「他律」より「自律」をめざす。

### 3 コミュニケーショントレーニング

「いやなこと」の感覚は人によってずれやすく、ネットの特性によってよりズレが大きくなる。

3つの視点

#### ①感覚のズレ

同じ言葉でも、いやと感じる人、そうでない人がいる。

#### ②ネットの特性

文字・・・状況を判断する材料が少ない

簡単に複製される、瞬時に拡散、場所や人の特定、完全には削除不可

#### ③リスクの見積によるズレ

これくらいなら大丈夫、というリスクの見積の甘さ

例：写真のUP

制服姿でグループの写真

全員の了解は得た？背景に写った人は？  
→肖像権の侵害になる可能性  
制服から学校はわかる。拡散することで個人の特定にも。  
お気に入りの店で料理の写真  
撮影禁止の店もある。  
店の名前がわかる→行動の特定につながる可能性  
※炎上したら、1時間で10万人以上が閲覧することも。

### 情報モラル＝日常モラル×ネットの特性×想像力・判断力

子どもが「迷った時に相談できる」大人に！  
「子どもの変化」に気づいてあげられる大人に！

#### 参加者感想（抜粋）：

- 子供達同士でLINEをし始めた時、改めて見直さなければいけないと思いました。困った時や迷った時に回答してあげられる様になりたいと思います。
- 思っていたより深刻なSNS状況に驚き、大変勉強になりました。子供がいつかLINEを利用する時にもそうですが、自分自身の利用の仕方、コミュニケーションの取り方なども考え直す良い機会でありました。
- ネットでは、個人の感覚のズレが様々なトラブルの元になる事がよく実感できました。
- あらかた知っていると思っていたのですが、改めて、この写真は公開OK？と聞かれると思い付かない危険性があるので、大人でも判断が難しいと思いました。もっと判断力をつける為に子供と一緒に学ばないといけないなあと思いました。
- 子供と常に話し合っってコミュニケーションのトレーニングをしていき、子供の変化に気づいてあげられるよう気を付けたいです。
- グループで考えながら進めていく所が良かったと思います。分からない所を教えてもらうだけでなく、グループワークする事で人によって考え方や感じ方が違う事が実感して分かりました。
- 同じ文面でも読む人によって、とても感じ方が違うという事や動画・写真などの取り扱い方など子供に正しく伝えていかなければいけないと感じました。



